

# 「北海道自然災害史研究ワーキンググループ」

## 委員公募のお知らせ

日本応用地質学会北海道支部事務局  
北海道応用地質研究会事務局

標記の委員会を立ち上げることになり、委員の公募を行います。下記の設立に関する事項をお読み頂き、参加ご希望の方は設立準備会宛にお申し込みください。なお、より詳しい情報は、次ページ以降 の設立趣意書をご覧ください。

### (設立趣意)

北海道は、地形・地質・気象等の自然的条件から、過去から多くの地震・火山・洪水等の自然災害に見舞われてきました。そして被害を受けるたびに、我々の祖先はその時の様子や教訓を後世に伝えるために、石碑やモニュメント等の自然災害伝承碑として被災場所に建立してきました。北海道内においては、少なくとも70箇所程度の災害碑の存在が確認されています。また、災害碑以外にも伝承として語り嗣がれている災害もあります。自然災害は同じ場所で繰り返し発生する傾向にあることから、災害碑等の情報を広く収集し分析することは過去の災害への理解を深め、現世において地域の防災計画立案に役立ちます。また、それらの情報を地域住民に広く知らせることは防災意識向上にも役立つものと期待されます。そこで本ワーキングは、過去の災害を会員や住民に広く知らせることを目的に、北海道における災害伝承碑や伝承等についての情報を幅広く収集し分析することを考えています。

つきましては、下記の要領で会員から委員を募集いたします。自然災害に関する史跡にご興味をお持ちの方、歴史にご興味をお持ちの方など、本ワーキングの活動へご参加をお願いします。奮ってご応募ください。

### 記

委員会名：北海道自然災害史研究ワーキンググループ

委員長候補：倉橋稔幸(寒地土木研究所)

委員予定数：約 20名

委員会活動期間(予定)：令和3年度～令和4年度(2年間)

CPD：活動時間に応じて取得できます。

申込み方法：以下の URL から所定事項をご記入ください。

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScHjgfQdPkrushvjNYN3l\\_yC4Pq6E-Y3BLxVXFEJzAeZKXkng/viewform?usp=sf\\_link](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScHjgfQdPkrushvjNYN3l_yC4Pq6E-Y3BLxVXFEJzAeZKXkng/viewform?usp=sf_link)

問合先：寒地土木研究所 防災地質チーム内

「北海道自然災害史研究ワーキンググループ」準備会 担当 倉橋

TEL; 011-841-1775

e-mail; [kurahashi-t@ceri.go.jp](mailto:kurahashi-t@ceri.go.jp)

申し込み締切：令和3年6月30日(水)

# 北海道自然災害史研究ワーキンググループ設立趣意書

## 1. 設立の背景と目的

北海道は、地形・地質・気象等の自然的条件から、過去から多くの地震・火山・洪水等の自然災害に見舞われてきた。そして被害を受けるたびに、我々の祖先はその時の様子や教訓を後世に伝えるために、石碑やモニュメント等の自然災害伝承碑として被災場所に建立してきた。北海道内において少なくとも70箇所程度の災害碑の存在が確認されている。また、災害碑以外にも伝承として語り嗣がれている災害もある。自然災害は同じ場所で繰り返し発生する傾向にあることから、災害碑等の情報を広く収集し分析することは過去の災害への理解を深め、現世において地域の防災計画立案に役立つ。また、それら情報を地域住民に広く知らせることにより防災意識向上にも役立つことが期待される。

そこで、本ワーキングは、過去の災害を会員諸氏や地域住民に広く知らせることを目的に、北海道における自然災害伝承碑等の調査・研究を行うものである。

## 2. 活動予定

### 1) 対象

北海道における以下の自然災害碑等を調査・研究の対象とする。

- ① 自然災害碑（石碑、モニュメント、銘板等）
- ② 口伝、伝説、伝承行事等

### 2) 災害形態

以下の災害形態を対象に調査・研究を行う。

- ① 地震
- ② 津波
- ③ 洪水
- ④ 高潮
- ⑤ 土砂災害
- ⑥ 火山
- ⑦ その他（火災、強風等）

### 3) 具体的な活動内容

本委員会は、会員及び地域住民に災害情報を広く知らしめることを目的とし、北海道における自然災害伝承碑等の調査・研究を行い、以下の活動に取り組む。

- ① 自然災害碑等の事例収集及び現地調査
- ③ 自然災害碑等に関する情報の集積、分析及び公開
- ③ 日本応用地質学会本部災害地質研究部会との連携
- ④ 機関誌、シンポジウム、講習会等による会員への情報発信
- ⑤ 防災教育としてのアウトリーチ活動
- ⑥ その他必要な事項

4) 活動期間と開催頻度

期間： 令和3年度～令和4年度（2年間）

頻度： 委員会開催、年間3～4回程度。必要に応じて現地検討会を実施。

5) . 委員構成

学会ホームページから委員公募を行う。

- ・ 委員長候補：倉橋稔幸（寒地土木研究所）

6) 研究成果の公表（予定）

インターネットによる北海道における自然災害碑等データベースの公開を予定している。

以上